

12月19日

中原区
はらのりゆき
原典之
(自民党)



防災対策

◎避難勧告などの発令時に、避難所での受け入れが困難な場合の対応は。

▲避難所補完施設として定めているこども文化センターや町内会館なども避難所として開設し、対応することとしている。



2020年東京オリンピック

◎2020年東京オリンピック・パラリンピックによる市の経済波及効果は。

▲東京都の発表では全国で約3兆円としているが、市で独自には試算していない。大会は、市の経済や地域の発展に大きく寄与する飛躍のチャンスと捉えている。

宮前区
やまだ はるひこ
山田晴彦
(公明党)



院内学級(★5)の手続き簡略化

◎保護者には院内学級への転校手続きが負担だが、対応は。

▲転校手続きを学校が代行することで、保護者の負担を軽減し、退院後の自宅療養中や通院の際の学習支援も行っていく。

ICTを活用した学習支援

◎闘病中の子どもたちにインターネットなどを活用した学習支援の取り組みは。

▲25年度から自宅療養中の児童生徒が申請を行えば、自宅でICTを活用して学習ができる環境を整えており、出席扱いも可能である。



中原区
うおだ とものぶ
潮田智信
(民主党)



文化活動のボランティア

◎ボランティアをしたい人とお願ひしい人のマッチングの取り組みは。

▲市ホームページやかわさき市民活動センターのボランティア募集冊子などでボランティアの募集情報を提供している。



かわさき市民活動センターのボランティア募集冊子「ボラ・ナビ」

ふるさと納税

◎市のシティセールスの観点からも、ふるさと納税制度を積極的に活用しては。

▲市を応援したいという全国の人々の思いを施策に実現するための手段として、今後も引き続き市の取り組みや魅力をさまざまな機会を捉え、発信していきたい。

宮前区
いしかわ けんじ
石川建二
(共産党)



最終バスの時間延長

◎溝口駅南口発南平・犬蔵経由宮前平駅行き最終バスを時間延長できないか。

▲採算性の確保など経営面や時間延長に伴う運転手の確保などの課題があるため、利用者の利用動向の推移を見極める必要があると考えている。

東急宮前平駅前広場の改修工事

◎南口駅前のモニュメントを改修して歩行空間を拡幅すべきだが、工事内容は。

▲東急電鉄から、モニュメントの移設が困難なことから植栽帯を縮小して歩行空間を拡幅すると聞いている。

幸区
よしだ ふみこ
吉田史子
(新しい川崎の会)



市の広報戦略

◎市民へ適切に情報発信するためには、戦略的な事業展開が必要では。

▲市民への効率的・効果的な広報手法の構築と効果の検証の仕組みを引き続き検討していく。



かわさき☆かがやきプラン(★6)

◎現在の第3期行動計画で今後、どのような課題意識を持って取り組むのか。

▲現行の点検評価項目である実績や課題の把握に加え、達成度の選択理由を成果に基づき明確にするよう調査シートを見直すなど点検評価の充実を図っていく。

多摩区
はしもと まさる
橋本勝
(自民党)



消防ヘリコプター

◎大型ヘリの購入には、国の補助金が充当されるはずが、市の国庫補助申請の不採択が決定しているようである。理由は。

▲国の26年度補助金の配分方針で、大規模災害に備えるため、緊急消防援助隊に新規登録するヘリコプターなどに配分するとされたため不採択となった。



消防ヘリコプター

市の刊行物

◎在庫管理や処分などの基準は。

▲刊行物作成の注意事項を網羅的に記載したガイドラインを作成して、刊行物の円滑で効果的な発行などに努めていく。

高津区
おかむら てるこ
岡村テル子
(公明党)



小黒恵子童謡記念館

◎市が受贈した同記念館のリニューアルオープンまでのスケジュールは。

▲耐震工事などを実施し、29年度当初からリニューアルオープンしたい。

DV・ストーカー対策

◎子どもの頃から男女共同参画を理解し、実践していけるよう、教育の場などでの啓発も必要ではないか。

▲学校教育の各段階で暴力を許さない教育や男女平等感に基づく教育などに取り組むとともに、若年層へのデートDVの防止に向けた啓発なども行っている。

宮前区
おだ かつひさ
織田勝久
(民主党)



東急鷺沼駅周辺の再整備

◎駅前に求められる機能と取り組みは。

▲駅を中心に高齢者や子育て世代などの多様なライフスタイルに対応する機能の充実や駅アクセスの向上など、コンパクトなまちづくりの実現を目指したい。



東急鷺沼駅前

障害児の就学

◎児童発達支援事業所でサービスを受けた子どもが就学する際の課題は。

▲学校と児童発達支援事業所との役割や体制の違いを保護者に理解してもらう必要があることから、就学説明会や個別の就学相談での周知を検討していきたい。

高津区
いしだ かずこ
石田和子
(共産党)



特別養護老人ホームの整備

◎高津区の特別養護老人ホームの整備について、現状と今後の見通しは。

▲現在、29年度の開所に向け、民有地を活用した特別養護老人ホーム設置運営法人の選考作業を進めている。

駐輪場対策

◎JR武蔵溝ノ口駅北口周辺の放置自転車対策が必要と考えるが、見解は。

▲これまで整理誘導員の配置見直しなどに取り組んできたが、放置の原因が主に買い物での利用によることから、時間利用駐輪場の導入を具体的に検討している。

高津区
おがわ あきのぶ
小川顕正
(新しい川崎の会)



地域の寺子屋事業での情報共有

◎良いテーマ、アイデア、運営方法を運営主体間で共有する仕組みが必要では。

▲現在開講中の寺子屋で運営を担う人を対象に、情報交換、スキルアップや改善点を検討する研修会を実施していきたい。

地域の寺子屋事業での学習支援

◎地域の寺子屋事業で学習支援を実施している学校と参加人数は。

▲大島、日吉、中原、久本、富士見台、中野島、西生田の各小学校と菅生中学校で学習支援を実施している。参加登録者は各校おおむね100人以上である。



地域の寺子屋事業での学習支援

川崎区
はやし ひろみ
林浩美
(自民党)



防犯灯のESCO事業(★7)

◎独自に地元業者と契約している町内会・自治会があると聞くが、今後のESCO事業認定事業者の考え方は。

▲事業化には、地域の工事業者の協力が必要と考えているため、今後の詳細な制度設計で配慮したい。

JR川崎駅北口自由通路

◎29年度に開設予定の北口自由通路に併設される行政サービス施設内に観光案内所を設置すべきでは。

▲行政サービス施設内を含め、観光案内機能などの整備に向けて検討している。



JR川崎駅北口自由通路の完成イメージ

麻生区
はなわ こういち
花輪孝一
(公明党)



救急搬送

◎救急救命士の育成と救急車への常時乗車体制の確立は。

▲毎年5人を新規に養成して救急救命士資格を取得させており、現行の27隊で常時乗車体制を確保している。



支援が必要な子どもへの対応

◎相談支援体制の強化充実が必要と考えるが、今後の取り組みは。

▲区役所保健福祉センターをはじめ、地域療育センターなどの専門機関や地域の関係機関などとの連携による支援の充実に努めていきたい。

麻生区
あまがさ ゆうじ
雨笠裕治
(民主党)



用途地域(★8)の見直し

◎地元から用途地域見直しの要望があった場合の市の対応は。

▲用途地域を変更する予定がなくても、地域が主体となり、まちづくりの提案があれば、都市計画の提案制度の活用などにより用途地域の見直しも可能である。

川崎国際生田緑地ゴルフ場

◎市民優先利用への対応は。

▲25年4月利用分から、市内在住または在勤者を対象にインターネット予約を取り入れ、一般受付より1カ月早い3カ月前から予約受け付けを行っている。



川崎国際生田緑地ゴルフ場(多摩区)